

富嶽ふがく
（乃木希典のぎまれすけ）

峻嶒りようそうたる 富嶽ふがく
千秋せんしゅうに 聳そびゆ

赫灼かくしゃくたる 朝暉ちようき
八洲はっしゅうを 照てららす

説とくを 休やめよ 区く区く
風物ふうぶつの 美び

地靈ちれい 人傑じんけつ
是これ 神州しんしゅう

峻嶒富嶽聳千秋 赫灼朝暉照八洲
休説區區風物美 地靈人傑是神州

解説 雄大な霊峰富士は、わが神州をよく象徴しているとの信念を詠じている。

語釈 ※富嶽＝富士山。霊峰富士。※峻嶒＝嶺が重なって高く聳えるさま。※赫灼＝赤々と照り輝くさま。※朝暉＝朝日の光。

※八洲＝日本のこと。※区区＝こまかいさま。※風物＝風景。景色。※地靈＝大地に宿るといふ精霊。※人傑＝優れた人物。

通釈 霊峰富士は、まことに気高く雄々しく、千年万年もの間、変わらぬ姿で聳えている。この富士から昇る朝日は赤々と国中をくまなく照らしている。実に、この山は大日本国の象徴である。あれこれと細かく、諸々の風景などを述べたてることがはいらない。土地はあらたかで、傑出した人物が沢山いる。これぞ、わが国が神国たるゆえんである。